

○田村副議長 これより会派の議員による関連質問に入ります。  
初めに、塚田議員。

〔塚田議員質問席へ〕

○塚田議員 市民の声なしで米子の未来発展なし、会派蒼生会、  
仏の塚田、塚田佳充でございます。先ほどの門脇議員の代表質問  
に関連しまして、2点質問させていただきます。市長並びに当局  
の皆様の前向きな答弁をよろしくお願いいたします。

1点目、老人福祉センターの在り方についてです。

先ほど代表質問で答弁していただきました。重複することもある  
かもしれませんが、優しくお願いいたします。

まず、本市の老人福祉センターの目的について伺いたいと思  
います。

○田村副議長 塚田福祉保健部長。

○塚田福祉保健部長 本市の老人福祉センターは、高齢者が健康  
で明るい生活を営んでいただくことを目的に設置をしております  
施設でございまして、高齢者の健康増進、教養の向上などに資す  
る取組を行っているところでございます。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 そうですね。3つの施設がありますが、各施設の利  
用状況をもう少し詳細に伺いたいと思います。ふれあいの里にあ  
ります米子市老人福祉センターの利用状況について伺いたいと思  
います。

○田村副議長 塚田福祉保健部長。

○塚田福祉保健部長 米子市老人福祉センターの利用状況につ  
きましては、令和6年度の利用者数は、延べ1万2,772人でござ

いまして、書道や陶芸などの教室利用者が3,788人、囲碁・将棋での利用が2,823人、そのほか体操や太極拳などで利用されております。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 次に、大篠津にあります弓浜地域老人福祉センターの利用状況について伺いたいと思います。

○田村副議長 塚田福祉保健部長。

○塚田福祉保健部長 弓浜地域老人福祉センターについてでございますが、令和6年度の利用者数は、延べ7,368人でございます。そして、本市のフレイル対策事業である「ふらっと、運動体験！！」やリモート運動教室での利用者が2,506人、機械を使った自主的な運動での利用者が4,698人、そのほかハーモニカクラブなどで御利用されているところでございます。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 次に、淀江にあります淀江老人福祉センターの利用状況について伺います。

○田村副議長 塚田福祉保健部長。

○塚田福祉保健部長 淀江老人福祉センターについてでございます。こちら令和6年度の利用者数でございますが、延べ1,175人でございます。運動教室など運動をする目的で利用されている方が1,018人、そのほか老人クラブの利用や絵手紙教室などで利用されているところでございます。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 この3つの施設、数字で確認をすると状況がやはりよく分かります。ふれあいの里、大篠津の施設のほうは、かなり

の利用者数で推移しています。淀江のほうも使われてないというわけではないのですが、ふれあいの里、大篠津の施設は、耐震もしっかりしていて改修などの話は特にないと思いますが、淀江の施設は私も見に行きましたが、耐震補強もされておらず、老朽化が目に見えて分かります。そろそろ方向性を決める時期に入っているのではないのでしょうか。

そこで、改修・改築・廃止を検討するなら、概算でもいいですので金額を頭に入れながら検討しなければならないと思います。分かる範囲で結構ですので、概算、よろしく願いいたします。

○田村副議長 塚田福祉保健部長。

○塚田福祉保健部長 各施設の改修・改築・廃止に関しましての概算額でございますけれども、米子市老人福祉センター及び弓浜地域老人福祉センターにつきましては、現時点では大規模改修の予定はございません。淀江老人福祉センターにつきましては、昭和56年4月に設置されたもので、施設の老朽化とともに利用者も減少していることから、個別施設計画においては、今後、大規模な改修は行わず、施設の在り方について検討することとしております。仮に耐震補強のみを目的といたしまして改修を行う場合の経費につきましては、詳細な調査をしておりませんので正確な数字はお示しすることはできませんけれども、1億円程度が見込まれるものと考えております。また、廃止に伴いまして、解体撤去した場合の経費につきましては4,000万円程度が見込まれ、同規模のものを改築したと想定した場合では、解体撤去を含めました経費につきましては、5億4,000万円程度が見込まれるものと考えております。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 やはり改築となりますと5億4,000万円、高額になりますね。ですが、私としては淀江の老人福祉センターも必要だと思います。運動教室で1,000人、老人クラブや絵手紙教室などで利用されている方々もおられるというのが現実でございます。本市の老人福祉センターの今後の必要性について見解を伺いたいと思います。

○田村副議長 塚田福祉保健部長。

○塚田福祉保健部長 本市の老人福祉センターの今後についてでございますが、本市の老人福祉センターは、高齢者が健康で明るい生活を営んでいただくことを目的に設置しております。センターにおいて、高齢者の団体、サークル活動や個人による運動、交流の場を提供することで、高齢者の生きがいづくり、健康増進を図っております。この機能は必要でございますが、例えば公民館などのほかの施設を活用することもできると考えているところでございます。

なお、淀江老人福祉センターにつきましては、代表質問の答弁でも市長が御答弁いたしましたとおり、令和4年3月に策定いたしました個別施設計画におきまして、大規模な改修は行わず、施設の在り方について検討することといたしておりますので、来年度中には今後の方向性を示したいと考えているところでございます。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 答弁していただきました。今後は選択肢の一つとして、淀江老人福祉センターの近隣施設に機能を移すことも考えて

いく必要があると思いますので、注視していかなければならないと思います。代表質問の答弁で来年度中には今後の方向性を示したいと答えていただきましたので、よろしく願いいたします。

次に、2点目、スポーツ施設の改修、改築についてです。

代表質問で米子アリーナのことを伺いまして、令和15年に開催する国スポ、国民スポーツ大会には間に合うことが分かりました。駐車場のことは拡充としか答弁にはなかったので駐車場についてお聞きします。米子アリーナの供用が開始されると、今後駐車場確保が困難になると予見され、駐車場を拡充するなどの渋滞や混乱を防止する対応策が必要と考えるが所見を伺いたいと思います。

○田村副議長 伊木市長。

○伊木市長 米子アリーナ供用に向けた駐車場の整備についてでございますけれども、この駐車場の確保につきましては、大変重要な課題であるというふうに認識をしております。そして対応策についても今検討しているところであるわけでございますが、具体的には、東山体育館横の駐車場を、これを拡充するということがございます。そしてもう一つは、東山中学校前のバスの転回場があるんですけれども、ここも駐車場として整備することで対応していきたいと、そのように考えております。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 ありがとうございます。ですが、私、昨年の夏、高校野球の鳥取県大会が市民球場で開催されました。私は決勝戦を見に行きましたが、結構早めに着いたので駐車場のことは安心して切っていたのですが、止めるところがなく、先ほど答弁いただい

た東山中学校前のバス転回場に止めました。東山運動公園内で開催していた競技は高校野球しかなかった状態にもかかわらずです。プールはいつものように営業はしていましたが、これでアリーナが完成して、陸上競技場やテニス場でも競技が行われていたら、車を止めるところがなくなり、応援に来てくださる方々が混乱し、苦情が出ること間違いないんじゃないかなとちょっと危惧しております。

アリーナは障がい者スポーツの大いに行える施設です。車椅子の方々はどうするのでしょうか。車椅子の方は選手だけではないです。応援する方、保護者の方など、私は余裕を持って整備したほうがいいと思います。例えば、立体駐車場とか、今はまだ米子市はやはりドア・ツー・ドアの車社会ですが、数十年先、免許を返納する人の人口が増え、車を運転する人の人口が減ってくるときが来ます。いろんな公共交通が充実していくなど、そのときには立体駐車場の解体を考えればいいと思います。例えばの話ですから。

次は、道路整備について、米子アリーナ周辺の道路整備における現在の取組状況について伺いたいと思います。

○田村副議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 アリーナ周辺の道路整備における取組状況ということでございます。米子駅南口から米子アリーナまでの歩行者動線でありますめぐみ通りの整備が完了いたしまして、現在、市道昭和町大谷町1号線、これは日本交通米子営業所の前を通る通りでございます。それから市道昭和町東福原線、これはマクドナルド181米子南店前から東山公園に行く通りでございますが、

その整備を実施しておるところでございます。

米子アリーナの開業に向けましては、現在の道路幅員内で歩行空間を可能な限り確保していくとともに、側溝の改修や歩行空間の美装化、路面標示の設置により、歩きやすく分かりやすい歩行環境を整備することとしておるところでございます。現在はアリーナ開業までの限られた時間の中で可能な整備を進めておりますが、引き続き歩行空間の改善につきましては、検討してまいります。以上です。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 ちょうど先週、めぐみ通り完成式典に参加してまいりました。とてもよかったですね。すごくいい道路ができていました。本当にこれから南口の道路が整備されていくのがますます楽しみになりました。式典の市長の挨拶の中で、米子アリーナまでの徒歩1.6キロだと話がありました。1.6キロで間違いなかったですかね。この1.6キロを歩こうと思うのか、まずそこだと私は思います。よくある標識とかではなく、少しちょっと調べてみましたけど、例えば、スカイツリー2棟と東京タワー1棟分歩いてみませんかとかっていう標識をつけたり、ちょうど1.6キロになるんです。レッツゴーとかいって人間が走っている、歩くようなやつをつけたりなどした後に、アリーナに着いてから友達とたわいもない、そんな話ができるのも楽しいと思うんでありますけど、スカイツリーと東京タワー歩いたなみたいな話ができたらいいんじゃないかなという、思ったりしましたんで、ちょっと少しそういうのも調べて見て、そういう標識があったらまた面白いんじゃないかな。その角に曲がるどころとか、そういったのがあれ

ば、ここまでがスカイツリー1棟分ですとか、ここからこの先が東京タワー1棟分ですみたいなのがあったら、特に面白いんじゃないかなみたいなのがちょっと思いましたので、参考にしてみてください。

次に、東山公園駅について。東山公園駅の改修は中田議員が質問をしてから動き出しました。今現在の東山公園駅改修のスケジュールについて伺いたいと思います。

○田村副議長 伊達都市整備部長。

○伊達都市整備部長 東山公園駅改修のスケジュールについてのお尋ねでございます。米子アリーナの供用開始により、利用者の増加が見込まれます東山公園駅の安全性、利便性の向上を図るため、米川沿いの市道からホームへ直接出入り可能なスロープなどの設置に伴う概略設計を現在実施しておるところでございます。今後は鉄道事業者との協議を行いまして、令和8年度は工事に向けました詳細設計を予定しておりまして、以降、可能な限り早期の工事着手、完成に努めてまいりたいと考えておるところでございます。以上です。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 よろしく願いいたします。利便性が第一ですから、よろしく願いします。

次に、ちょっと質問の順番変えて、県民・市民プールについて伺いたいと思います。というのも、県議会でも12月定例会で話が出ていたので米子市の見解を聞いたかったのですが、昨日、岩崎議員が質問をされまして、重複していますが、答弁していただけますかね。築40年以上が経過し老朽化が進む県営東山水泳場

について、適切な競技環境の確保に向け、皆生市民プールとの統廃合による新水泳場建設について、県と協議を加速すべきだと考えますが、所見を伺いたいと思います。

○田村副議長 伊木市長。

○伊木市長 東山の新水泳場建設整備についてのお尋ねでございますが、県営東山水泳場につきましては、築40年以上が経過しておりまして老朽化が進んでいるだけではなくて、50メートルプールと飛び込み用プールがいずれも野外でありますことから、年々厳しさを増しております夏の猛暑によりまして、十分な競技環境の確保が困難となってきた状況がございます。一方で、皆生市民プールにつきましても同じく築40年が経過しておりまして、鳥取県と共同での屋内の新水泳場を整備することについて、引き続きこれは県と議論を進めていきたいと思っております。

また、2033年に国スポが一応予定されているということでございまして、それに合わせるということももちろんあるんですけども、我々地元から考えますと、やはり日頃からあの水泳場で練習をしていらっしゃる競技者の皆様がいいらっしゃるということもございます。したがって、良好な競技環境、練習環境を整えるためにも、やはりできるだけ早く、この整備というものを望むというところを米子市としては申し上げているところでございます。以上でございます。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 市長、ありがとうございます。私も市長と同じ気持ちでございまして、私は飛び込みが推しでございまして、私の知り合いもやっていました。米子市からあれだけ有名な選手が数多

く出ているのに、練習会場が県外に行かないとないというのは、ちょっとさすがに寂しい思いがあります。いつでも地元の米子でしっかり練習ができる環境を整えて、さらなる飛躍につなげてもらいたい、私は思っております。市長の答弁いただきまして、同じ気持ちだと強く思いました。ぜひ屋内飛び込みプール、お願いいたします。

関連質問で、車、駐車場、道路、歩行、駅、施設と聞いてきました。駐車場はしっかり整備すると聞いていますので安心してはいますが、そういう周辺も踏まえた全体を見ながら、東山公園一帯の整備を計画的に実施する必要があると考えますが、所見を伺いたいと思います。

○田村副議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 令和15年に開催されます国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会におきましては、東山運動公園内におきまして多くの競技の開催と多数の参加者や関係者の来場が見込まれておりますことから、交通アクセスの改善・向上が図れるよう、関係部署で緊密に連携いたしまして、必要な環境を整えてまいりたいと考えてございます。以上です。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 ありがとうございます。よろしく申し上げます。令和15年の国民スポーツ大会に向けてだけではなく、そこに焦点を当てるのではなく、東山公園一帯をどうしていくのかということが全てだと思います。交通アクセスの改善・向上を関係部署間で緊密に連携を取りながら環境を整えていくという前向きな答弁をいただきましたので、分かりました。

それと、先ほどプールに関してお聞きしましたので、どうしても気になることがありまして、県営東山と皆生市民プールがもし統廃合されましたら、市内のプール施設の数が増えることは避けられないと考えます。本市において民間連携泳力向上学習事業として、学校外の屋内プールを利用した水泳授業を進めているため、この事業への影響があるのではないかと考えますが、所見を伺います。

○田村副議長 長谷川教育委員会事務局長。

○長谷川教育委員会事務局長 プール施設が統廃合した場合におけます学校の水泳授業への影響についてのお尋ねでございますが、これは様々な可能性が考えられる、将来の想定の話でございますが、現状におきましては事業の影響について推し量ることは困難ではないかという具合に考えておりますが、いずれにいたしましても、官民連携泳力向上学習事業につきましては、施設の利用が見込まれる児童生徒の数と施設の受入態勢などの状況を勘案いたしまして、その時々状況に応じて最善の対応を検討しながら取り組んでいく考えでございます。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 ぜひともお願いいたします。子どもたちが困らないように、ぜひともお願いいたします。

次に、東山公園から離れた場所の施設に焦点を当ててみようと思います。やはり米子アリーナが完成した後、一番私の周りで話題に上るのは産業体育館です。国道に面しており、交通の便もよく、県外の方に場所を教えるのにも簡単な施設です。私はインディアカというスポーツをやっていますが、4年に一度、中四国大

会、全国大会予選が回ってきます。価格も安価で利用しやすかったのですが、米子アリーナ供用開始後の鳥取県立米子産業体育館について、バレー関係者、バドミントン関係者からも残してほしいという声がありますが、所見を伺いたいと思います。

○田村副議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 米子アリーナは、県立米子産業体育館、市民体育館と市営武道館の3施設を統廃合いたしまして整備を進めているところでございます。そのため、米子アリーナ供用開始後、米子産業体育館は他の2施設と同様に廃止することになります。以上です。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 そうですか。とても残念です。でもいつかはそうせざるを得ないということですね。分かりました。

次に、日野川河川敷についてです。日野川運動公園は各種スポーツ大会等の開催や市民の憩いの場として利用されていますが、豪雨災害などによる河川増水に伴って浸水した場合、その都度、多額の施設整備費を投じて再整備する必要があります。豪雨災害による影響の少ない屋外運動施設の整備について所見を伺いたいと思います。

○田村副議長 石田文化観光局長。

○石田文化観光局長 日野川運動公園は日野川河川敷に整備、位置しておりますことから、議員がおっしゃいますように大雨等によりまして日野川が増水した場合には浸水が起こり得るものと承知をしてございます。豪雨災害による影響の少ない屋外運動施設の整備につきましては、様々なまちづくり構想の動きがある中、

部局を越えた連携の下、検討を進めていきたいというふうに考えてございます。以上です。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 まだ先の話になるでしょうが、新しい中間処理施設建設候補地周辺などはどうでしょうか。昨日、こちらも岩崎議員も話しておりました、米子城にあったテニス場、日野川運動公園施設、産業体育館、アイススケート場などなど、まだ決まってないのであれば検討する余地はありそうですね。そういった複合型スポーツ公園など施設整備について所見を伺いたいと思います。

○田村副議長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 中間処理施設建設候補地のお話ございました。今、彦名地区の皆様方からは、まちづくり施策に関しまして充実してほしいと御要望を頂戴してございます。今後につきましては、例えば未利用農地を活用したスポーツ公園広場ですとか、そのほか公共交通の充実、農業生産基盤の強化など彦名地区の発展につながるような対策を地元の皆さんと取りまとめることといたしたいと思います。その中で検討することになるかというふうに考えてございます。以上であります。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 これからまだまだお話ができることがありそうですね。今後に期待しております。

最後に、新しい中間処理施設ができて稼働し始めた後、現クリーンセンターの跡地利用はどのように考えているのか、現時点での考えを伺いたいと思います。

○田村副議長 橋尾市民生活部長。

○橋尾市民生活部長 現クリーンセンターの跡地利用についてでございますけども、現時点におきましては、稼働停止後、施設は解体し、借地部分については返却が基本となり、市有地部分につきましては今後検討していくものと考えております。

○田村副議長 塚田議員。

○塚田議員 地元の声としてですけども、クリーンセンター、最後の最後まで行政と地元と一緒に考えて話し合い、着地点を決めていきたいという声が上がっております。こういうふうに決まりましたので、はい、解散というふうにならないように要望いたします。

私の質問は以上ですが、伊木市長の姿勢、挑戦していく姿勢、私はとても大好きです。伊木市長に倣い、私も目の前のことも大切ですが、常に10年、20年先を見据えて考えているつもりです。見えない未来に挑戦するのは勇気が要ることで、いろんな落ち度があったりするものだと思います。それでも挑戦することで光が、活路が見えてくると思います。私の1期4年間、いろんな勉強をさせていただきました。そして、当局の皆様のおかげで少しは成長できたと思います。本当にありがとうございました。